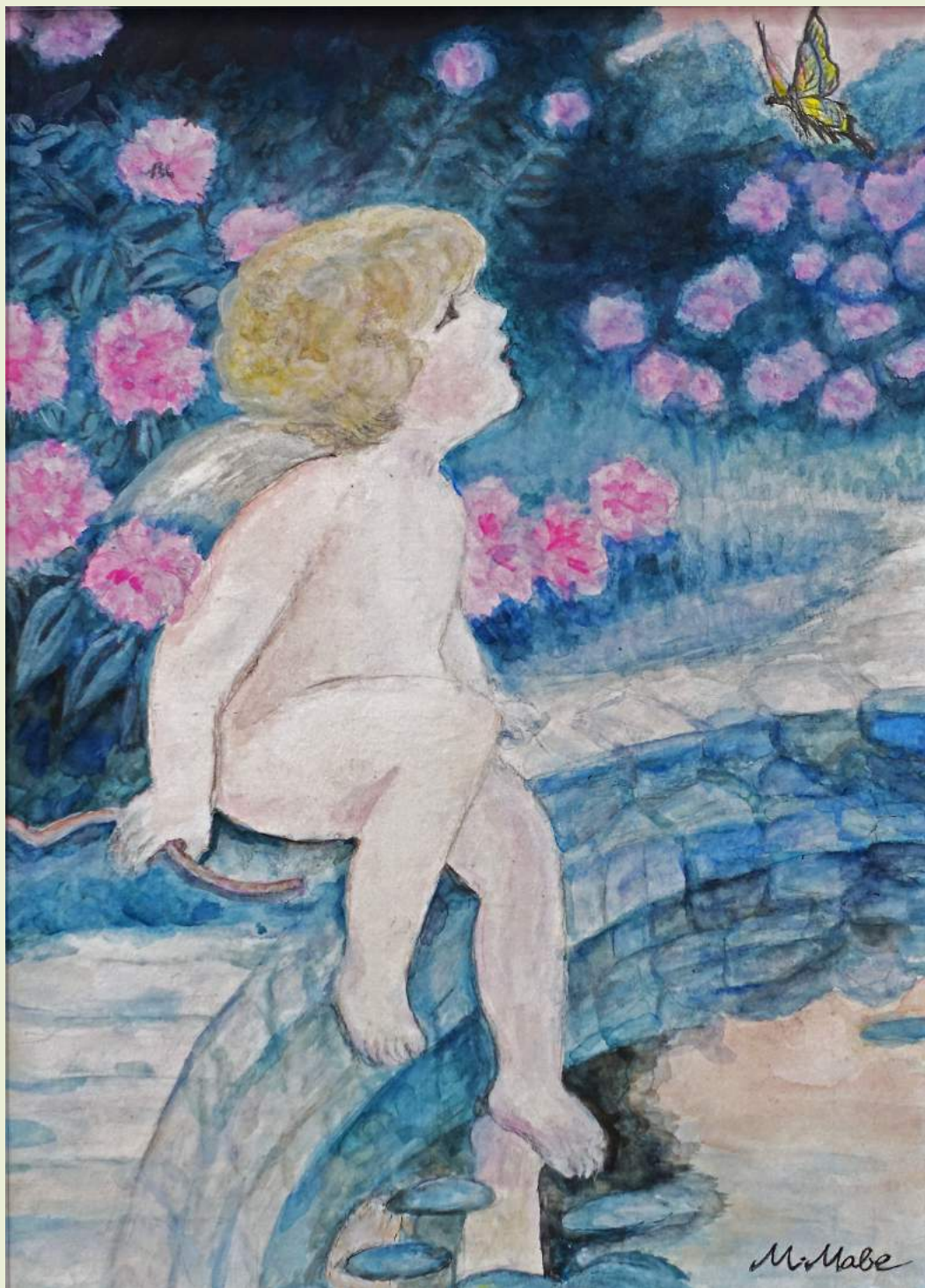


北鯨城会だより

No.46

令和3年3月
2021年



令和二年作品展出品作

目 次

2021 0301

1	会 長・行事委員長 挨拶	1
2	第25回趣味の作品展 目録	2
3	作品一覧	3
4	出品者のことば	7
5	名城公園 秋の花植え	18
6	会員のページ 知多四国八十八か所巡拝スケッチ (22)	19
	短歌・川柳・クイズ	20
7	お知らせ 編集委員・編集後記	21

令和3年度の諸行事は、コロナ禍で現在未定です。



表紙の言葉

【絵画】 Cブロック 32期美術 間部みち子

多くの人が“癒しや希望を持てること”を求めている昨今。5cm角の小さな天使の写真に目を留め、描きました。部屋の隅に飾った“エンゼル”はいつも見守ってくれています。

令和2年度を振り返って

Gブロック 31期福祉A 藤谷 修一

会長職をお受けしてはや一年となりました。役員さん、幹事さん、ブロック長さんにとっては大変なご苦勞があった一年であったと推察されます。かつて経験のない新型コロナウイルス蔓延により会の行事はことごとく中止となり、会員の皆様におかれましてはご不満が多々あったものと思います。会長としてもっと上手に出来たのではないのか自問自答する毎日であります。



会長 藤谷 修一

そんな中、今年度開催できた唯一の行事、秋の作品展を開催することができ、大成功に終わった事は、暗い話題の多い時期にほっとするものであります。行事関係者の皆様、出展参加者の皆様には感謝申し上げます。

また、名城公園における一年間の清掃活動及び夏のアサガオ水遣り活動におきましては会員の方々の多大なるご協力により今のところ順調であります。この活動は北鯨城会にとっても大きな意義があります。会を代表して厚く御礼申し上げます。

またこの一年、会の中で感染者が出なかった事、胸を撫で下ろしているところであります。さて、来年度も多難な年である事は容易に想像されますが、例年通りの計画でスタートする予定であります。感染者を出さない。そのための予防策を十分にとってまいります。

最後に、諸般の事情により来年度も会長職をお引き受けすることになりました。ご支援、ご協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。

北鯨城会会長

第25回 趣味の作品展を終えて

Hブロック 30期園芸 久保 善敬

北鯨城会の伝統になりました「趣味の作品展」は、会員の皆様、役員、幹事、ブロック長等々のご支援とご協力により無事終了することができました。コロナ禍の中での開催にもかかわらず、事故なくできて安堵しております。心より御礼申し上げます。

行事委員長

北鯨城会 「第25回 趣味の作品展」 作品目録

令和2年11月25日(水)～29日(日)

会場：市民ギャラリー矢田 カルポート東

	ブロック	期 学科	氏 名	題 名
--	------	------	-----	-----

絵 画

1	A	24期美術	側島 憲一	再出発を待つ
2	B	29期文化B	斎藤由紀子	明治村・秋
3	C	20期園芸	山田 侃	水郷(近江八幡)
4	C	20期園芸	山田 侃	鯖街道(熊川宿)
5	C	32期美術	間部みち子	エンゼルの休息
6	E	27期陶芸	小川 功雄	いざ直線勝負
7	F	21期美術	中山 郁雄	晩秋の釧路湿原
8	F	24期美術	八木 國次	「模写」“赤い帽子と薔薇”
9	G	18期園芸	坂東 文夫	御射鹿池
10	G	18期園芸	坂東 文夫	野菜(かぶら)
11	H	31期文化B	遠藤 富子	エリザベスを巻くネコ
12	H	31期文化B	遠藤 富子	バンビーとオードリー
13	H	13期美術	倉澤 明夫	模写(手袋をした女性)

水墨画

14	D	27期陶芸	都筑 重夫	名古屋城東通路
15	D	25期健康	岡田かず子	水墨画
16	E	27期陶芸	小川 功雄	いざ直線勝負
17	G	17期環境	伊藤 崇孝	爛花清流
18	H	27期文化B	熊沢 豊	花魁の図

写 真

19	A	29期国際B	千田勝四郎	誰かが見てる
20	A	27期環境	原 武勝	手水鉢
21	E	24期園芸	水野美代子	飛翔
22	F	28期環境	小川 直俊	ひまわりのような女
23	F	24期地域	秋田 英市	雪の高山
24	F	24期健康	内藤 明	おいしいですか……
25	G	26期福祉	箕浦 伸充	彼岸花
26	H	28期環境	山本 研二	よくばり棚

陶 芸

27	D	15期生活B	光村 昭子	花いけ(2点)
28	D	27期陶芸	都筑 重夫	オオワシ(陶板絵)
29	D	27期陶芸	都筑 重夫	光福寺(三重県大台町)
30	D	27期陶芸	都筑 重夫	マホーノランプ
31	H	22期園芸	丹羽 保夫	花器 2点

	ブロック	期 学科	氏 名	題 名
--	------	------	-----	-----

工芸(彫 刻)

32	C	19期福祉	川瀬 章子	大飛出、小面2(オト)
----	---	-------	-------	-------------

書

33	A	33期文化A	鈴木 幾子	アート書「風」2点
34	A	29期健康A	渡辺 良一	時雍表昌運
35	H	22期環境	井藤 雅江	流汗悟道

押絵

36	A	29期健康A	渡辺 良一	一寸法師
----	---	--------	-------	------

押花

37	D	31期生活B	服部 玲子	初夏のムクゲ
----	---	--------	-------	--------

ちぎり絵

38	C	24期生活B	安藤百合子	干支(うし)
----	---	--------	-------	--------

パソコンアート

39	E	24期環境	原 清隆	私のワード作品
40	E	24期国際	横井 貞子	ちみじ紅葉

ハーバリウム

41	D	15期生活B	光村 昭子	ハーバリウム
42	D	22期生活B	松田 悦子	ハーバリウム
43	D	25期健康	岡田かず子	ハーバリウム
44	D	26期福祉	山中 諒一	ハーバリウム
45	D	27期陶芸	都筑 重夫	ハーバリウム
46	D	27期地域	高見美智子	ハーバリウム
47	D	29期国際B	渡辺 茂	ハーバリウム
48	D	29期文化B	北村 智子	ハーバリウム(2点)
49	D	31期生活B	服部 玲子	ハーバリウム
50	D	32期文化B	服部 悦子	ハーバリウム
51	D	33期国際A	大木 直人	ハーバリウム

手芸品

52	A	23期園芸	犬飼 信夫	エッグアート
53	C	32期美術	間部みち子	マドモアゼル
54	C	29期環境	小笠原真佐美	ししゅう鏡
55	E	31期生活B	浅田 道代	手編み作品ベストケープ他

園芸

56	H	28期環境	山本 研二	とうがん
----	---	-------	-------	------



「趣味の作品展」 令和2年11月25日(水)～29日(日)

令和2年の秋の作品展が、市民ギャラリー矢田で行われました。

絵画



24期美術 側島 憲一
「再出発を待つ」



29期文化B 斎藤由紀子
「明治村・秋」



18期園芸 坂東 文夫
「御射鹿池」



18期園芸 坂東 文夫
「野菜(かぶら)」



31期 文化B 遠藤 富子
「バンビーとオードリー」



31期 文化B 遠藤 富子
「エリザベスを巻くネコ」



32期美術 間部みち子
「エンゼルの休息」



24期美術 八木 國次
「模写(赤い帽子と薔薇)」



21期美術 中山 郁雄
「晩秋の釧路湿原」



13期美術 倉澤 明夫
「模写(手袋をした女性)」



20期園芸 山田 侃
「水郷(近江八幡)」



20期園芸 山田 侃
「鯖街道(熊川宿)」



27期陶芸 小川 功雄
「いざ直線勝負」



27期陶芸 小川 功雄
「いざ直線勝負」



25期健康 岡田かず子
「水墨画」

「趣味の作品展」 令和2年11月25日(水)～29日(日)



17期環境 伊藤 崇孝
「爛花清流」



27期文化B 熊沢 豊
「花魁の図」



27期陶芸 都筑 重夫
「名古屋城東通路」



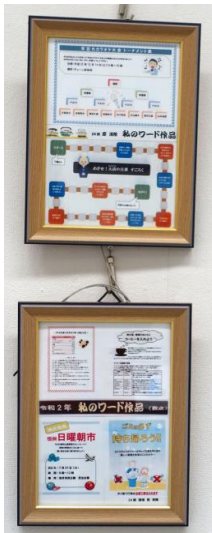
19期福祉
川瀬 章子



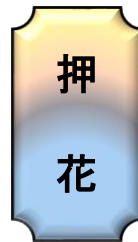
「大飛出、小面2(オト)」



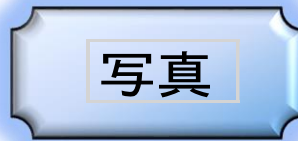
24期国際 横井 貞子
「紅葉」



24期環境 原 清隆
「私のワード作品」



31期生活B
服部 玲子
「初夏のムクゲ」



27期環境 原 武勝
「手水鉢」



24期園芸 水野美代子
「飛翔」



24期地域 秋田 英市
「雪の高山」



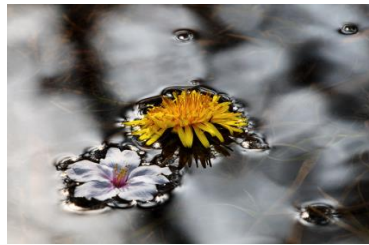
28期環境 山本 研二
「よくばり棚」



24期健康 内藤 明
「おいしいですか…」



28期環境 小川 直俊
「ひまわりのような女(ひと)」



29期国際B 千田勝四郎
「誰かが見てる」



26期福祉 箕浦 伸充
「彼岸花」

「趣味の作品展」 令和2年11月25日(水)～29日(日)



27期陶芸 都筑 重夫
「マホーランプ」



27期陶芸 都筑 重夫
「オオワシ(陶板絵)」

陶芸



22期園芸 丹羽 保夫
「花器 2点」



15期生活B 光村 昭子
「花いけ 2点」



27期陶芸 都筑 重夫
「光福寺(三重県大台町)」

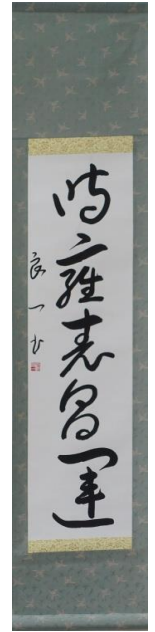
書



33期 文化A 鈴木 幾子
「アート書 風 2点」



22期環境 井藤 雅江 29期健康A 渡辺 良一
「流汗悟道」 「時雍表昌運」



園芸



28期環境 山本 研二
「とうがん」

手芸



24期生活B 安藤百合子
「干支(うし)」



29期健康A 渡辺 良一
「一寸法師」



23期園芸 犬飼 信夫
「エッグアート」

「趣味の作品展」 令和2年11月25日(水)～29日(日)



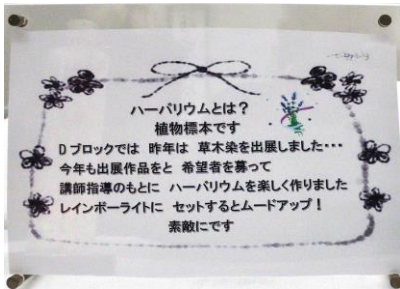
31期生活B 浅田 道代
「手編み作品 ベスト・ケープ他」



29期環境 小笠原真佐美
「ししゅう鏡」



32期美術 間部みち子
「マドモアゼル」



ハーバリウムとは植物標本です



15期生活B 光村 昭子 22期生活B 松田 悦子 25期健康 岡田かず子



26期福祉 山中 諒一



27期陶芸 都筑 重夫



27期地域 高見美智子



29期国際B 渡辺 茂



29期文化B 北村 智子



31期生活B 服部 玲子



32期文化B 服部 悦子



33期国際A 大木 直人

出品者のことば

手芸を出品して

Eブロック 31期生活B 浅田 道代

編み物は好きです。集中して無心になれる所が良いです。30分くらいは一心不乱に編み続けられます。気が付くと3時間くらい編地と格闘している時もありました。

若い頃(20歳になった頃)ブラザーの編み機を購入して、機械編みから始めました。独身時代には自分のセーター中心に作り、子供ができてからは、娘のベストや夏のワンピースなど作りましたが、子育ての頃はやっぱり集中する時間がとれず、ずっと編み物の事を忘れていました。

50代になった頃、近所のママ友達と一緒にまた編み始めて今に至ります。この頃はすぐ目が疲れ、肩もこり、背中まで痛くなって、なかなか続けられませんが、これからもボチボチ編み続けて、素敵な作品を残したいと思っています。主人や孫達のセーターも作りたいのですが、なかなか思うようにははかどりません。残念ですが…。



中国水墨画の良さを表現する

Gブロック 17期環境 伊藤 崇孝

今回も拙作中国水墨画軸一点提出いたしました。何年前になるのだろうか、中国を家内と旅行した際の思い出の風景の一コマかと思っております。花の咲き揃うその美しさと流れる清流との取り合わせを入れて見ました。年齢的に難しくなっているがもう一度訪れることができればという気持ちと、花は季節に咲いてまた一段と良さを発揮するのかもしれないとも思います。中国の風景がまた何かの折りに表現できればと思います。

閑話休題、「水墨画は元来、墨色の濃淡の調子によって描く絵」と広辞苑にはあります。「中国に於いて、彩色を用いず山水樹石みな水墨のみで描くのが山水画」との補足説明。しかし、濃淡のみでは表現できず、彩色を使うことでより一層花鳥風月が表せるとしました。

今習っている処では中国水墨画として活動の場を拓けているのも事実です。もう少し勉強できないかとの思いと、その奥深い滋味のある風景が表せないか苦心中です。



エッグアート

Aブロック 23期園芸 犬飼 信夫

今回の出展物「エッグアート」とは私の娘がアメリカ、シカゴに滞在中、駐在員の家庭の集まりから始めたもので、帰国した後、材料をアメリカより送って頂き作ったものです。私も見真似で手を付けましたが全く完成できず、今回の展示物は娘の作品です。

駝鳥の卵ですが珍しいのではないかと許可を得て出展させて頂いた次第。よって作成したのは二昔も前のもので、今作れといわれても私の手に負えません。卵の中身を抜いても割れない事が大切で、このような利用の仕方もある事を披露した次第です。



コンテ精密動物画

Hブロック 31期文化B 遠藤 富子



私の絵はコンテ精密動物画といいます。写真をトレースして描きます。コンテ・サップツ・消しゴムを使い濃淡をつけて表現します。細部まで丁寧に描き、肉感・質感・立体感を出すことが重要です。

この絵では、猫の毛並みとエリザベスの透明感を出すのに苦労しました。コツコツ時間をかけての制作で根気がいりますが楽しいです。

「ハーバリウム」を作成して

Dブロック 33期国際A 大木 直人

いま私の前には「第25回趣味の作品展」で制作した「ハーバリウム」が机の上に置かれています。淡いピンク色のドライフラワーがオイルの中でまるで生花のように泳ぎ、それが癒しと安らぎを与えてくれています。そのうえLEDのレインボーの光によってよりいっそう美しい花にさせています。

実は私の家には妻が以前に作った「ハーバリウム」が玄関先に置いてあり多少の知識はありました。よし今年北鯨城会に入ったという思い出として作ってみようと思い参加いたしました。当日は最初に花を選ぶことから始まりましたが、家に飾ってある「ハーバリウム」がブルー系の花でしたので迷わずピンク色の花を選びました。



慣れない不器用な指先で、1時間余りで何とか今回の作品を作りました。最後の仕上げでオイルを入れたとき花が沈んでしまい苦労していると、講師の先生が手助けしてくださり、何とかでき上がりました。

その日、自宅に持ち帰り、早速玄関に妻の作成したハーバリウムの横に並べました。「私のより上手にできているじゃない」と褒められました。まさか先生に手助けされたとは今以て言ってません。

趣味は何事にも優る



Cブロック 29期環境 小笠原真佐美

新型コロナウイルスの感染拡大で外出を控えて、それぞれ各自での安全対策をしている昨今です。

毎年会員の皆様の趣味の作品を鑑賞させていただき、素晴らしい力作ぞろいで驚いています。好きこそもの上手なれとは、良く言ったものだと思います。趣味があるのは、何事にも優るものだとつくづく感じます。

令和3年はどんな年になるのか分かりませんが、新型コロナウイルスに対するワクチンが早くでき、北鯨城会の行事に多く参加できる事を楽しみにしております。展示会場、会場当番のブロック長幹事の皆様、本当にご苦労様でした。ありがとうございました。

広がる仲間の輪

Dブロック 29期文化B 北村 智子

作品展に皆で参加できたらと、去年の草木染作りに続き、今年はハーバリウムを作ることになりました。

ハーバリウムとは、聞きなれない方もいると思います。瓶の中にドライフラワーをアレンジしてオイルを流してコーティングする植物標本です。皆さんとの作品作りは、とても楽しくできました。そしてレインボーライトでムードアップ！ 作品展会場では、来場の方に作成のことを聞かれたり、会員の方の中でぜひ講習会を開きたいとの声もありました。作品を通して輪が広がったことは、本当に嬉しかったです。コロナウイルス感染禍中での作品展でしたが、会員の方々の作品を鑑賞させて頂けたこと、自粛生活でお会いできなかった皆さんと交流できたことで私にとって大きな意義のある作品展になりました。



絵画雑感

Hブロック 13期美術 倉澤 明夫



ぜひ出品をというお誘いを頂き、最初はお断りしておりましたが、美術科卒であり、お付き合いも必要と思い出品することになりました。趣味の作品展の会場が、地下鉄黒川駅構内のギャラリーで開催されていたころから、油彩画、スケッチ画など何回か出品してきました。みなさんの諸作品には感心させられました。小生、最近は小さなスケッチ画を楽しむ程度ですので、出品するに値する作品はありません。

油彩画の6号、4号では持ち運びに問題があるため、小作品の美人画を模写したものにしました。美人を画くのは幾つになっても楽しいものです(年甲斐もなく)。しかし、模写するのは意外に難しく、一部分でも少々はずれで全然異なった表情になり、美人が不美人になりなかなか納得のできるものが描けません。

今回の出品作も、まあまあといったところで絵筆を置いたものです。過日、米寿を祝っていただいた年齢になりました。これからも絵心を忘れず手帖、スケッチ帳などにペンを走らせて楽しもうと思っています。

再資源化

Aブロック 24期美術 側島 憲一

第25回趣味の作品展に「再出発を待つ」という風景画を描きました。

健康維持のため、新地蔵川両岸散策路でウォーキングをしています。その途中にフォークリフトなどの産業機械修理会社の駐車場に消耗廃車が多数置いてあります。再生して有効活用できれば幸いです。



一途に勉強

Dブロック 25期健康 岡田かず子



鯉城学園に入学でき、クラブは水墨画を選びました。実は孫の習字道具があったからです。それを使用すれば良いと考え、気軽に入会を決意しました。しかし、入会して初めて上手な人ばかりであることに気づき困り果てました！ その時、学園の図書館が目に入り、水墨画の本を次から次へと読み続けました。一途に

勉強です。作品展もロビー展、市民ギャラリー、文化祭、地下鉄黒川駅（現在は市民ギャラリー矢田）と年に4回あります。そのたびごとに努力を重ねる状態です。更に学区の作品展も見て廻ります。皆さんが頑張ってお出品されている様子を楽しみ感じ、とっても楽しく行動できよかったです。

実は1年間水墨画の会計を勤めました。役員の方々の仕事内容が良くわかり、皆さんの意見を纏め、事業一つ一つを進めていく苦勞を知るという大変な体験をさせていただきました。皆さんご苦勞様でした。私は運よく先輩が細部を丁寧に教えて下さったので無事終了でき、感謝いたしております。皆さんも大きく、明るく、楽しく趣味を生かして下さいね。期待していますよ。



能面打ち

Cブロック 19期福祉 川瀬 章子

子育てが一段落した頃、愛知県勤労会館で能面打ち教室が始まり、教室の一員となり、平井先生に学びました。教室に通って20年余りの間に13面ほど製作しました。

子どもや孫に私の手のあとを残し、私が生きてきたあかしに一面ずつ渡すつもりです。

真心こめて

Dブロック 27期陶芸 都筑 重夫



第25回趣味の作品展に参加させていただき、行事委員の皆様には世間を騒がせている新型コロナウイルスという目に見えない病原菌の中、勇気を持って開催して頂きましたことを紙面を借りてお礼申し上げます。

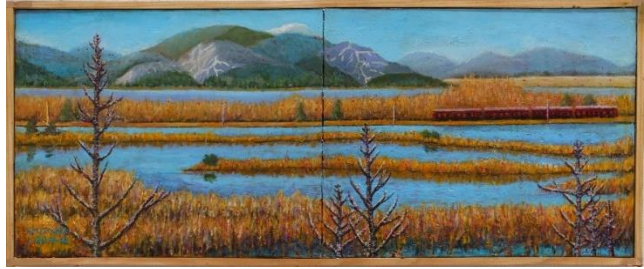
私が絵を始めたのは19年前、何か生きてきた証をと思いついたのが始まりでした。家の中には絵と本と陶芸でいっぱいです。趣味を始めるのに、もう遅い、もう年だから、ということはありません。今のうちにカメラを持ち、敬老パスでバス、地下鉄に乗り、ウォーキングをして公園、神社、仏閣などを廻り、四季折々の草花、木など写し、暇な時に画用紙に描けば良いのです。へたでも楽しく真心をこめて描けば、それなりにまとまって来ると思います。

次の第26回趣味の作品展にも参加させて頂けるのを楽しみにしています。

「晩秋の釧路湿原」を描いて

Fブロック 21期美術 中山郁雄

私にとって北海道は、大好きな良き場所です。道内旅行はのべ40日ほどです。学生時代には道内右回りで、襟裳岬・釧路・摩周湖及び阿寒湖など。家族旅行では知床・ニセコ及び小樽などを回り、スケッチを楽しんできました。



今回の絵はその体験から釧路を選び、移りゆく秋の大自然の美しさを表現したかったのです。自然と息をすることは私に生きる力を与えてくれるものでした。絵は写真と異なり、作るものです。山水の色、草木の色など、全部自分の感覚を最大限に生かしつつ描きますが、この瞬間がとても楽しいひと時です。

私は毎日就寝前に、翌日の午前午後に区分し予定を立て、自分に嘘をつかないように努め、来る日を楽しんでいます。皆さんも好きなことがたくさんあるかと思いますが、持続的にされる事をぜひ切望します。

出展する事に思う

Hブロック 22期園芸 丹羽 保夫

私は高年大学22期生で、陶芸クラブに所属していました。学園のクラブでは年間陶芸の作品を展示しました。初めは何を作ろうかと思案しました。卒業後は楽陶クラブに所属し、現在も継続しています。作陶は名東生涯学習センターの名東陶芸クラブに所属し、活動を続けています。展示会は楽陶クラブにて毎年2回開催、また名東陶芸クラブも年に2回開催をしているので、北鯨城会を加えると年に5回出品しております。展示会に皆様方が来場して下さる事は、作品を展示する者として大変励みになり有難いことです。



私達名東陶芸クラブは5班有りますが、指導する先生はいません。各個人が自分で考え作陶しています。また作陶、乾燥、釜入れ、素焼き、施釉、釜入れ、本焼き、全て会員が行います。陶芸の一から最後まで自分達で行うので、いろいろな知識が習得できます。少し陶芸についてお話しします。粘土はいろいろありますが、釉薬もいろいろあります。同じ釉薬をかけても粘土により色が変わります。これは粘土の中の成分により反応が違うからです。また、焼成には酸化焼成と還元焼成があります。同じ釉薬をかけても焼成の方法にて色が変わります。

一例を話しましたが、陶芸クラブに所属し、いろいろ勉強になりました。抹茶茶わ

んを作る時は、作品の形、大きさ、高さ、五山、茶だまり、高台などバランスのとれたものが良いとされています。いろいろ難しいことがあります、これがまた楽しくて、物を作っています。展示会に向けて作品を製作する事は大変な気苦労があります。しかし展示会が開催されないと寂しく、自己満足に終わってしまいます。作品の満足度より、皆さんに作品をご披露する事に意義があると思います。

更なる学習を求めて

Eブロック 24期環境 原 清隆

私の出品について、どの様な原稿を綴ろうかと思案しました。何故出品したのか？従来出品する意図は“自己啓発”のためと言われています。そこで改めて「啓発」とはいかなる意味か辞書を引きました。「啓発」とは“知能を開き高め導くこと”とありました。出品者は己の知能を開き高め人を導くということでしょうか！

実は今回の私の作品はこの講習、自習で学んで得た作図（完成図）をプリントアウトしたものです。パソコンを起動しテキストの手引きに従って種々の入力、種々の設定などをして操作するとあらかじめ構成された完成図ができ上がります。課題はどのように操作して作図、作表を完成させるかです。どのようにワード、エクセルなどを使いこなすかです。全てがこれにかかっています。更なる学習が求められます。

今回数々の素晴らしい作品が鑑賞できました。作品展の発展を祈ります。



元気くん

「飛翔」を撮る



Eブロック 24期園芸 水野美代子

この度、北鯨城作品展に出品した「飛翔」は名古屋駅に出かけた時に飛翔の傍に満月を見た時に撮った写真です。

夕暮れ時、写真用語ではマジックアワーと呼ばれる時間帯でした。ビルに明かりが点き始め、あたりが薄暗くなりかけました。

カメラには広角レンズを付けていたので周りの風景を広く撮ることができました。しかし三脚を持っていなかったのが、シャッター速度を気にし手ぶれに注意しながら撮りました。これはその中の一枚です。近い将来この場から移転することになっている飛翔を撮れたのは良かったと思いました。

百姓は面白い

Hブロック 28期環境 山本 研二

北鯨城会の作品展に3回目の出展です。3回とも山本農場「約50坪の借地」で栽培した園芸品です。(ちよっと広すぎ?)

1回目の題名は「瓢箪から駒が出る」。駒は将棋の駒を飾り付けました。2回目は「カラフルゴーヤ」白・緑・黄色の3色ゴーヤです。3回目は「よくばり棚」冬瓜・ゴーヤ・瓢箪・つる紫が一つの棚にたまたま4個がそろっただけです。写真技術はいまいち。4回とも見る人が楽しく、面白くなる作品を狙いました。



今回は新型コロナウイルスで自粛ばかりだから、皆さんすっきりしたいだろうから「遊び心」をもって、生の冬瓜(約10キロ)を出品したいと担当者をお願いしました。担当者も心の広い方でOKをいただきました。

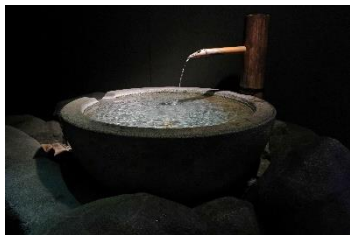
北鯨城会の作品展で初の園芸部門ができました。29日の最終日の午後に冬瓜をカットして希望者にプレゼントしました。おいしかったかな…

一応完全無農薬を目標に、頑張るのは嫌なので思いつくまま気まま流で、気楽な家庭菜園暮らし。これもなかなか面白いもんだ。農産物は自然相手に自分の思い通りにはいきません。スタートして8年目です(奥さんの助けがないとやれません)。

今「五十姓」ぐらいかな…。

作品づくりに頭の体操

Aブロック 27期環境 原 武勝



今年は新型コロナ禍の影響でほとんどのクラブ集会、展示会が中止となりました。そんな中で北鯨城会作品展のみが実施される事となり、出展させて頂くべく、さて何をと思案したが、時節柄籠の鳥の生活を強いられております。撮影の機会も少なく、撮影済みデータを色々検索してよう

やく決定しました。

7月26日(日)生憎の雨降りでしたが、場所は各務原市川島町のアクアトトぎふ淡水魚園水族館での一枚です。真っ暗な部屋、部分照明の中にポツンと設置されており、何とはなしにシャッターチャンスと感じボタンを押しました。

申し込み用紙を手にし、題名を何とするか散々思案をしても思い浮かばなかったが、丁度そのころ読んでいた時代小説の中に「手水鉢」の記述があり、それを使用させてもらう事にしました。

いつもの事ながら、題材、題名を決めるのに悩まされるが、そういう事が少しは頭の体操に役立っていれば幸いと自認しております。

何事もこつこつと

Cブロック 32期美術 間部みち子

この作品展に出品させて頂くのは、2回目になります。私共は作品をただ運び込むだけですが、会場造りから展示、後片付けなど、多くの人達のご尽力により、本年度も無事に終わりました事を感謝いたします。

実は同時期に32期美術専攻の2度目の作品展も、市民ギャラリーで行われていました。卒業してからも、ずっと絵を描き続けている仲間と、描けずにいる自分との差は大きすぎ、何事にもこつこつと努力する大切さを感じています。老後(?)には、趣味を持つと良いと言われていきます。楽しんで打ち込める何かを求めて、まだ模索中ではありますが、来年度の作品展には現在の自分を表現するべく、何かを作りたいと思っています。



清楚さと凛々しさに惹かれて

Fブロック 24期美術 八木 國次



今年は新型コロナウイルス感染によって、世界中が大変な事態になっており終息する事なく令和2年度が終わろうとしています。皆さんも大変な影響を受けられたと思いますが、私達「24美会」の勉強会も休みが続き、先生の講義や助言を受ける事もなく各自で自習を余儀なくされて気力も薄れている中、趣味の作品展に出展依頼を受け困っていました。そんな時、ふと目に留まったのが頂き物のクッキー缶「チボリーナ」のパッケージになっていた少女像でした。天使のような清らかな清楚さと意思の強さを持った凛々しさが気に入った作品”赤い帽子と薔薇“でした。この少女像に惹かれて挑戦して描いてみましたが、果たしてどうでしょう？

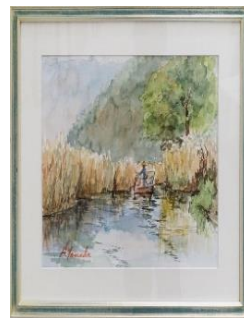
私の趣味

Cブロック 20期園芸 山田 侃

現役時代の私の唯一の趣味はゴルフでした。毎週土日はコースに、出ないときは練習場に出かけるのが日課でした。50歳を迎えた時に友人から、空いている畑を使わないかと勧められて、家庭菜園を始めたら、これにハマって雨降り以外の土日は畑通い、ゴルフの腕は目に見えて落ちてきました。口の悪い友人に「おい、今のは“鉄スウイング”になっているぞ」とからかわれました。

これで定年後は家庭菜園で充実した時間を過ごせると思っていた。しかしいざ定年となった時に、家庭菜園は体力勝負のところがあり、それ以外に長続きできるものということで、スケッチ（水彩）教室に通い始めました。

それから20年…。月2～3回名古屋近郊に出かけ野外スケッチを続けていますが、同じところに出かけても、季節ごと、天候、見る角度によって景色が変わって見え、新しい気持ちで描けます。まだ楽しく描けていますので、まだまだ続けられるかなと思っていますが、家庭菜園は始めて30年、ぼちぼち鋤を置く時が近いと感じています。



私は…

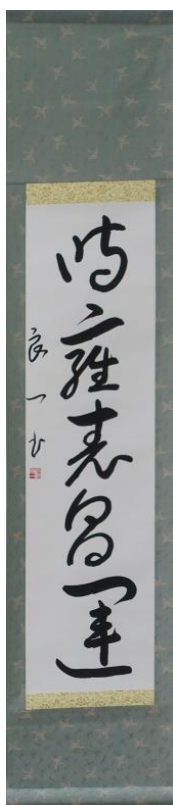
Aブロック 29期健康A 渡辺 良一

私は、2つの作品を展示していただきました。一つは通信販売でキットを購入し、組み立てた「お椀の船に乗った一寸法師」です。施設にスタッフとして働いていた時に作成しました。当時、施設のメンバーと一緒に講習を受け、「梟のマスコット」を作ったり、名城公園にあったスポーツ会館でのレクリエーション講習を受講したり、中産連ビルで、三好春樹先生の介護の実技の講習を受けたりしました。「お椀に乗った一寸法師」は、当時の私の思い出の一つです。

もう一つの作品は書です。意味は「時和ぎて事なく隆盛な運をあらわす」。

この作品は、書道塾に通って、先生の指導を受けながら作成をしました。現代の我々が使う字体と異なり、太く書く所、字自体を大きく書かなければならないとか、筆使いに注意をしなければならない所、スペースを取らなければならない所があったり、丸く書く所、真ん中に来るように字体のバランスをとるなど、先生に指導を受けながら練習を繰り返して作成した作品です。

「読み方」は、「とき やわらぎ しょううん あらわす」です。



作品づくりは四苦八苦

Eブロック 24期国際 横井 貞子

趣味の作品展出品にあたり、秋たけなわということで、もみじにしようと思いましたが、しかし、肝心のもみじが思うように描けません。上手に描こうと思うと余計におかしな形になってしまいます。でもそれ以上に難しかったのはレイアウトです。ああ

でもない、こうでもない」と四苦八苦ししました。「それなら出品しなければいいのに」と娘に言われましたが、日々気ままな生活をしているので、時にはこういう時間があってもいいのではと思っています。テレビや写真で見る紅葉は素晴らしく、イメージは大きく膨らみますが、私の実力では遠く足元にも及びません。でき上がった作品はとても満足いくものではありませんが「継続は力なり」を信じてもうすこし頑張ろうと思っています。



パソコンは奥が深く、私はいつまでたってもスタートラインです。しかし優しい先生、先輩に支えられいつも和気あいあい楽しい時間です。老化防止に最良ではないかと思えます。



力作の数々を熱心に観賞する来場者たち。



作品展最終日 達成感の笑顔にあふれています。

小春日和に名城公園 花壇の花植え

Dブロック 32期国際A 木村 道夫

温かな小春日和の11月25日に名城公園北園花壇の「秋の花植え」を行いました。当日は第25回北鯨城会趣味の作品展の初日と重なったため、参加者が少ないかなと心配されましたが、28名もの参加を頂き、名古屋市緑政土木局の指導の下、三つの花壇一杯に花苗を植えました。

社会奉仕活動委員長



バランス良く配置するには設計が大事。
まずはしっかり寸法を測ります。



プロ級の見事な出来栄え。
どこのブロックの技でしょうか？



コロナに負けず無事に終了しました。完成した花壇の前に全員集合してパチリ。皆さん、お疲れ様でした。

知多四国八十八ヶ所巡拝スケッチ (22)

Gブロック 18期園芸 坂東 文夫

今回で最終回となります、22回の報告で八十八ヶ寺の札所と、結願の興正寺までをご案内します。10年にわたり当北鯨城だよりに掲載していただき、スケッチをした甲斐がありました。誠にありがとうございました。



第85番 清水寺（慈悲山）本尊は観世音菩薩 浄土宗

東海市荒尾の民家密集地に当寺はあり、“火伏せの観音様”と信仰を集めている。聖観世音菩薩像は伝教大師作と伝わり、市の指定文化財になっている。

第86番 観音寺（大悲山）

本尊は聖観世音菩薩 真言宗智山派

当寺は臨海工業地帯を見下ろす高台にあり、豊臣秀頼公の祈願寺として隆盛を極めた。昭和になり空襲により堂宇を消失したが、順次に再建され現在に至る。毎年8月10日、青竹の先につけた提灯をもぎ取る、厄除け観音祭りが行われ賑わう。



第87番 長寿寺（鷲津山）

本尊は阿弥陀如来 臨濟宗永源寺派

当寺は織田信長と今川義元が戦った桶狭間の近くにある。開創当初は真言宗の長祐寺と称したが、明治までの大火で記録も焼け、その後、尾張藩家老の意向で再建された。鐘楼門を入ると、壮大な本堂があり、別堂に弘法大師と薬師如来が祀られる。

第88番 円通寺（瑞木山）本尊は馬頭観世音菩薩 曹洞宗

知多四国参りの最後の札所となる、円通寺は、天平元年行基菩薩が馬頭と准胝の観世音菩薩を刻み、開創されたと伝わる。88番の寺がしもにあたるため、腰から下の病気を除ける「しも弘法」として親しまれている。



結願 興正寺（八事山）本尊大日如来 高野山真言宗 別格本山

当寺は1687年10月天瑞円照和尚が、高野山より当地に来て草庵を結んだのが始まりで、尾張藩主徳川光友公の帰依を受け、八事興正寺の称号を賜る。境内は 東山遍照院、西山普門院に分かれ、東山は大日如来を、西山には当寺の象徴ともいえる五重塔を始め、本堂・観音堂が並ぶ。

長い間ご愛読いただき、誠にありがとうございました。唯唯感謝です。



お礼 坂東 文雄様

「知多四国八十八ヶ所巡拝スケッチ」シリーズは11年間にわたり会員の皆様に愛読されてきましたが、今回で終了となりました。長年にわたり「北鯨城会だより」の紙面を飾っていただき、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。今後ますます健康に留意され、今まで以上に本会の活動にご尽力くださいますようお願い申し上げます。

「北鯨城会創立30周年」を記念して、以下の品を会員の皆様に配付しました。



クオカードとボールペン

令和2年度 広報委員

山中 諒一	D	26期	福祉	水野美代子	E	24期	園芸
千田勝四郎	A	29期	国際B	小川 直俊	F	28期	環境
遠藤 富子	H	31期	文化B	寺辻 敏夫	E	30期	国際A
小出千賀子	H	32期	文化B	鈴木 幾子	A	33期	文化A

発行責任者 藤谷 修一 (会長)

編集責任者 村松 敏弘 (広報委員長 副会長)

◆ 編集後記

令和2年度は、コロナ禍で行事が多数中止になりました。例年の活動報告ができない状態の中で作品展が開催されました。出品者の皆さんに「作品に対する心の思い」をお願いしましたところ、多数の方の応募をいただき、ここに46号を発行することができました。心より感謝申し上げます。

作品に対する意気込みが肌で感じられ、そして言葉に感銘を受けました。60歳以上の高齢者の鯨城学園でそれぞれ専科・クラブで学んだ皆さんの作品が、今後も更に磨きをかけられると思います。次回の作品展を楽しみにしたいと思います。

Aブロック 31期生活A 村松 敏弘 広報委員長

広報委員 大募集！！

「北鯨城だより」を一緒に作りませんか。

原稿集め、レイアウト、校正などの仕事をしています。パソコンができる方、大歓迎！
会員の皆さんが楽しみにし、笑顔で読んでくださる紙面を共に作りましょう。

お待ちしております。



名古屋市北区清水四丁目 16-6
TEL 912-4688

軽食有ります
出前致します



**「毎日徹底的に換気・除菌」
を行っています**

ウイルス対策で安心・安全!

 除菌液設置	 入室人数半分	 大型8~10人部屋
 マイクカバー	 マイク最大8本	 退室後30分換気

飲食持込OK

24時間営業

24 JAPAN レンタカー

ご予約はお電話でお気軽にどうぞ!

大曽根 052-915-4122 星ヶ丘 052-781-6251

康生通 052-532-7220 南陽茶屋 052-301-3500 星崎 052-823-0666

四軒家 052-774-5252 天白 052-806-1911 港 052-653-9258

▼切り取ってお持ち下さい!▼

¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥

カラオケ割引券

フリータイム
平日
7~11時

一室無料

【有効期限】2021.8.31まで
 【対象店舗】名古屋市内のジャパンカラオケ
 ※年末年始・GW・お盆期間などはご利用できません
 ※ご利用1回につき1枚のみ有効

¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥